

## 会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 令和5年度第2回水戸市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会
- 2 開催日時 令和6年2月27日（火） 午前10時30分から午前11時30分まで
- 3 開催場所 水戸市役所本庁舎5階 農業委員室
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 委員 青木 かを里，岡田 澄子，角田 恒巳，齊藤 恵，佐藤 裕紀子，志賀 正章，薮 喜代子，中庭 由美子，中山 彰眞，堀野 礼子，マーサー川又，山口 朋子
  - (2) 執行機関 野口 奈津子，大久保 克哉，深谷 貴美，松本 崇，飛田 尚亨，清水 圭子，菅原 功雄，森 敬之，佐々木 瑛，窪庭 友介，長島 大祐，大森 崇弘，岩谷 剛
- 5 議事及び公開・非公開の別
  - (1) 特定教育・保育施設，特定地域型保育施設の廃止，移行及び利用定員の変更について（公開）
  - (2) その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数 1人
- 8 会議資料の名称  
〔配布資料〕
  - 資料① 特定教育・保育施設，特定地域型保育施設の廃止，移行及び利用定員の変更について
  - 資料② （仮称）水戸市こども計画の策定に係る基礎調査のアンケート回答状況について（速報）水戸市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会名簿
- 9 発言の内容

### 【事務局】

定刻となりましたので，ただいまから令和5年度第2回水戸市社会福祉審議会児童福祉専門分科会を開会いたします。

本日は御多用にもかかわらず，お集まりいただきまして，誠にありがとうございます。

開会にあたりまして、こども部長より、御挨拶を申し上げます。

(こども部長挨拶)

### 【事務局】

続きまして、本日は、委員 16 名中 12 名と、半数以上の委員に御出席いただいておりますので、「水戸市社会福祉審議会条例」第 6 条第 2 項の規定により、会議が成立したことを御報告いたします。

なお、\_\_\_委員，\_\_\_委員，\_\_\_委員，\_\_\_委員より、事前に欠席の御連絡をいただいております。

続きまして、本審議会につきましては、水戸市附属機関の会議の公開に関する規程第 3 条第 1 項に基づき、原則公開とさせていただきます。

また、会議資料及び会議録につきましては、個人情報等、開示することができない部分を除き、公表することになっております。

本日、会議を傍聴される方 1 名がお見えになっております。

本日の配布資料につきましては、次第、資料①、資料②、児童福祉専門分科会名簿となっております。すべてお手元にございますでしょうか。

それでは、議事に入らせていただきますが、会議の議事進行につきましては、社会福祉審議会条例第 6 条第 1 項の規定により、\_\_\_会長にお願いしたいと存じます。

それでは、\_\_\_会長、よろしくお願ひいたします。

### 【議長】

それでは、議長を務めさせていただきます。皆様、よろしくお願ひいたします。

まず、議事に入る前に、今回の会議録の署名委員を指名させていただきます。

本日の会議終了後に会議録を作成しますが、その署名人として、\_\_\_委員，\_\_\_委員の 2 名を指名させていただきます。よろしくお願ひいたします。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

はじめに、(1)特定教育・保育施設、特定地域型保育施設の廃止、移行及び利用定員の変更について、事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

### 【議長】

ただいまの説明について、御質問、御意見がございましたら、お願ひいたします。

### 【\_\_\_委員】

見川幼稚園と吉田が丘幼稚園が廃止ということですが、廃止反対の立場から意見と質問を述べさせていただきます。見川幼稚園の廃止については、児童数が減ったからという理由では、とても納得できません。見川幼稚園は、住民がお金を出し合って開設したという

歴史があります。見川小学校、見川中学校は建替えをしましたが、それと併せて見川幼稚園にも建替え計画があり、新しい見川幼稚園の完成を、地元住民も保護者もとても楽しみにしていました。今のプレハブの園舎は、完成までの一時的なものだと思っていましたが、廃止予定とされたため、廃止反対署名活動が行われ、2,500人を超える署名が市に提出されました。廃止は、園児の減少が原因ということですが、市は見川幼稚園、吉田が丘幼稚園ともに、園児を増やす努力はしたのでしょうか。私立の幼稚園では行っている、バスの送迎や給食、そして延長保育など、園児を増やす努力をせずに廃止することには納得できないという、地元住民や保護者の声も聞きました。令和4年に梅が丘幼稚園が廃止されたことから、この地域では市立の幼稚園が1か所もなくなってしまい、地元の小学校との関係が薄れて、良好な幼児教育の環境もなくなってしまいました。市が行うべきことは廃止ではなく、市立幼稚園の充実だと思います。市は市立幼稚園の役割、そして今後の内容の充実について、どのように考えているか教えてください。

### 【幼児保育課】

本市では令和2年2月に水戸市立幼稚園の再編方針を策定しました。当時、市立幼稚園の園児数の減少が顕著であったため、認定こども園への移行などを柱にした再編を計画的に進めてきたところです。令和4年度末で、7か所の幼稚園を廃止しておりまして、追加で今回挙げさせていただいた見川幼稚園、吉田が丘幼稚園を令和5年度末で、廃止いたします。そして、笠原幼稚園についても、令和6年度末で、廃止を予定しております。再編の方針としては、廃止をする一方で、幼保連携型の認定こども園や、幼稚園型の認定こども園への移行、3年保育への移行としております。幼保連携型の認定こども園への移行が2か所、幼稚園型の認定こども園への移行が3か所、3年保育への移行が2か所と、移行した園は7か所となっております。本市といたしましても、市立幼稚園の役割というのは非常に重要だと認識しております。幼稚園と保育所共通のカリキュラム等を作成する場合などにおいては、実際に市が主導していなければならないところもあります。また、幼児教育から小学校へ円滑に接続するためのカリキュラムの作成や、幼児教育と小学校教育接続のための協議会の運営、保幼小連携に関する研究指定校として民間の施設を含めて進めているところですが、やはり市立の施設が中心となって役割を担っておりますので、今後も市立幼稚園の役割は重要だと認識しております。

### 【\_\_\_\_委員】

水戸市の幼児教育の充実を考えた場合、すべての保育施設を存続させることで、子どもたちの良好な保育環境を確保できると思います。

### 【\_\_\_\_委員】

見川地区には約1万人の人口がいます。昨年廃止になった、隣の梅が丘幼稚園の地区で約1万5,000人。合わせて約2万5,000人の人口がいます。そしてその地域は、幼稚園から小学校、中学校と上がっていき、一つの地域で完結する関係になっています。水戸市の約1割の人口がいる地域に、公立の幼稚園、保育所がないことは、おかしいのではないかと

強く訴えます。少子化といっても、見川地区では、毎年小学校に約 100 人が入学していますので、幼稚園が旧態依然なやり方で運営されてきたために、廃止になったのだと思います。人口も多い、子どもたちも多いという地区で、公立の保育、教育をどうすべきか、考えてほしかったと思います。私たちは、幼稚園の存続と、子どもたちの保育、教育に対する地域の関わりを強く訴えてきましたが、残念な結果になってしまいました。

**【議長】**

見川には、保育施設が全くないのでしょうか。

**【幼児保育課】**

公立の保育施設はございません。

**【\_\_\_委員】**

2,500 人以上の廃止反対署名が集まるなど、反対している地域の方が多くいらっしゃいますが、廃止が 3 月 31 日と決まっていますので、これを覆すというのは現実的には難しいと思います。こどもたちのことを考えると、教育の場、保育の場というのが減ってしまうことは、とても残念なことです。幼稚園や保育園のように預かるということは難しいですが、地域で見守りたいという方がたくさんおられる地域ですので、地域で見守る新たな仕組みを作る話は進んでいます。

**【議長】**

日常的に学生と接していますが、実際に子育ての担い手となっていく学生たちは、みんな結婚はしたくない、子どもはほらないと考えています。そのため、今後様々なことをやっていかなければならないと思いますが、先程の 2,500 人の署名の中に、実際にお子さんがいらっしゃる方は、どのくらいいたのでしょうか。

**【\_\_\_委員】**

一番多いのは、中学生のお子さんがある保護者の方でした。小学生、中学生のお子さんがある保護者の方が非常に多かったです。皆さん子どもに対する思いというのは、すごくあったのではないかと思います。

**【議長】**

新たな仕組みという話が出ましたが、おそらく全国的な問題だと思います。私は潮来市や結城市などの男女共同参画にも関わってきましたが、どこもとにかくこどもは少ない、保育施設の経営は難しい中で、何とかしなくてはならないという状況です。廃止に反対するだけでなく、知恵を集めて新しい仕組みを作っていかなければならないと思います。

**【\_\_\_委員】**

子どものためのケアをしても、子どもは増えないと思います。一番大事なことは、子育

てをする親へのケアだと思います。最近も子育て中のお母さんと話をしましたが、本当に必要なのは、近くに子どもを預けられる祖父母がいない方が、3時間でも4時間でも、子どもを預けられるような施設だと言っていました。子育て中のお母さんたちが、子育てそのものが楽しいと思える環境づくりが、自治体としての責任なのかもしれないと思います。昔は、子どもを預けられる祖父母や知り合いが近くにいましたが、今はそういう方が少ない上に、預かる側も気軽な気持ちでは預かることができない。そういう社会風潮の中で、ストレスの中に入り込んでしまう子育て中のお母さんたちが、安心できるような時間づくり、空間づくりをしていかなければならないと思います。

**【\_\_\_委員】**

市内の各保育園、幼稚園には、親子で遊びに行ける子育て支援センターがあります。一時預かり制度もありますので、病院に行きたい場合やお年寄りの介護のために子どもを預けたいなどの場合には、一時預かり制度を利用していただけたいと思います。1歳6か月児健診などで、そういった情報がもらえます。

**【議長】**

水戸市は、待機児童が多かったですが、今はほとんどいないので、やってできないことはないと思っています。みんなで知恵を出し合って、意見を届けるといった流れができれば良いのかなと思います。

では次に、(2)その他について、事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

**【議長】**

ただいまの説明について、御質問、御意見がございましたら、お願いいたします。

**【\_\_\_委員】**

調査期間が2月1日から2月16日までだったことが、回答率が低い原因ではないかとのことですが、前回の調査期間はどの程度だったのでしょうか。

**【こども政策課】**

前回の調査期間は12月25日から1月21日までの28日間の調査でした。今回は16日間となっております。

**【\_\_\_委員】**

アンケート調査の正式な回答結果は、いつ公表されますか。

**【こども政策課】**

4月以降に本市のホームページに掲載する予定となっております。

**【議長】**

ホームページで公表されるということですね。

議事については以上でございます。なお、本日の議事内容について、御不明な点などございましたら事務局まで御連絡くださいますようお願いいたします。本日は円滑な議事進行に御協力いただきまして、ありがとうございました。事務局にお返しいたします。

**【事務局】**

\_\_\_\_会長ありがとうございました。

それでは以上を持ちまして、令和5年第2回水戸市社会福祉審議会児童福祉専門分科会を終了とさせていただきます。本日は長時間にわたり御審議いただきまして誠にありがとうございました。